

とく てい がい らい せい ぶつ がいじゅう
特定外来生物・害獣の



アライグマ・ハクビシン



の被害が発生しています



◀ アライグマ



▶ ハクビシン

台東区では、特定外来生物とく てい がい らい せい ぶつに指定されているアライグマと、有害鳥獣ゆうがいちようじゅうとして疎まれてい
るハクビシンの目撃情報と相談件数が増加しています。特定外来生物とは、もともと日本
にいなかった生物（外国から持ち込まれたり、やってきた生きもの）のうち、特に私たち
の生活や生態系などに影響を及ぼすもの、または及ぼす恐れのあるものについて、国が規
制すべき生物として指定した動植物のことです。

野生化したアライグマやハクビシンは、民家や寺社の天井裏などに住みつき、ごみを荒ら
したり、糞尿被害ふんにようを与えるなど私たちの生活に好ましくない影響をもたらす場合があります。

アライグマ・ハクビシンの生態と特徴

アライグマ



中型犬くらいの大きさ
頭から尾の先まで70~90cm

耳はとがって、
白いふちどり

目のまわりに
黒いマスク模様
眉間に黒いすじ

尾に5~7本のしま

ヒゲは白い

前足・後足とも5本指



ハクビシン

白鼻心(ハクビシン)
の名のとおり
顔の真中に白いすじ

スリムな体型
頭から尾の先まで90~110cm



足が短い

前足・後足とも5本指

尾が長い

アライグマ・ハクビシンによる被害事例

▶ 生活環境への被害

野生化したアライグマやハクビシンが増えると、市街地に進出し、ごみ捨て場を荒らしたり、家屋の天井裏や縁の下に棲みついて建物を損壊させたり、糞尿による被害をもたらします。また神社や仏閣にも侵入するため、文化財への損害も報告されています。

何より衛生面で大きな影響を及ぼします。野生動物ですので、寄生虫（ダニ・ノミ・回虫など）を持っていたり、狂犬病などの感染症の媒介により、人間やペットへの影響も懸念されます。



アライグマによる木造家屋の損壊



ハクビシンによる天井裏の糞害

◆写真提供：関西野生生物研究所

▶ 農作物や畜産への被害

雑食性のため果実や野菜などの食害が増えています。庭や畑のスイカやトウモロコシ、ブドウ、ミカン、イチジク、梨、柿、イチゴなど糖度の高い果樹や野菜類や畜産飼料の食害、また養魚場や養鶏場への侵入も確認されています。

農作物や畜産物はある程度生育したものでなくては出荷できません。したがって商品化直前の食害に対しては手のほどこしようがない状態です。

防護壁や防護ネットを設置しても、それらを登って侵入するため、数を減らす以外に手の打ちようがない状況です。



穴を開けて食べられたスイカ



実をかじられたトウモロコシ



基部を残して食べられたブドウ



イチジクの食べあと

◆写真提供：埼玉県農林総合研究センター 古谷 益朗

防除対策

～被害にあわないために～

ハクビシンなら
これくらいの穴でも
侵入します

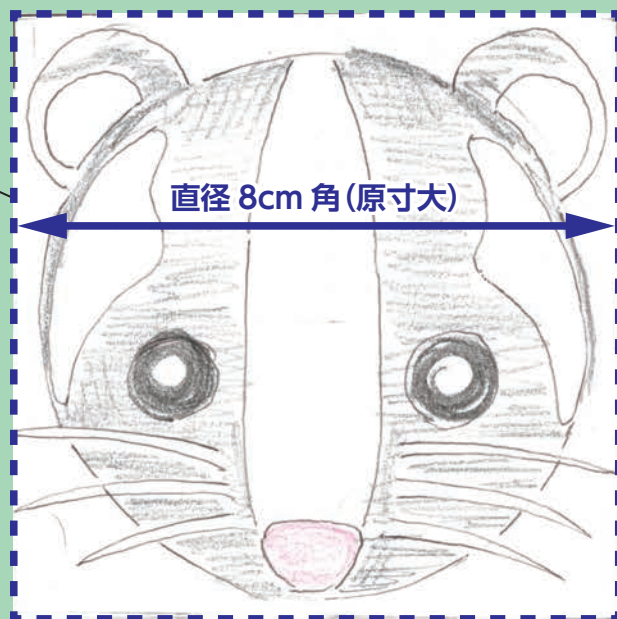
縁の下や通風口などの家屋の隙間をふさぐ

家屋への侵入を防ぐために、縁の下や通風口、屋根と壁の間などの隙間をふさぐことが有効です。

アライグマなら10cm角、ハクビシンなら右の絵のように、8cm角の隙間であれば、どこでも侵入します。

生ごみや敷地内の果実などエサになるものを放置しない

雑食性なので、昆虫、ネズミや鳥のヒナなどの小動物、スイカやトウモロコシ、柿やミカンなどの果実や種子など何でも食べます。生ごみやペットフードの残りを戸外に放置しないようにしましょう。また敷地内に実った果実や野菜などは取り残さないように注意しましょう。



台東区のアライグマ・ハクビシン対策事業

住宅等の天井裏などに継続的に棲みついている恐れがある場合、または糞尿などによる被害がある場合には、区による捕獲事業を行っておりますのでご相談ください。

捕獲対象

☞ アライグマ・ハクビシンのみ



利用期間

☞ 原則 1 週間



設置場所

☞ 設置希望者の所有又は管理している敷地内



貸出条件

- ☞ 設置場所が屋外の平地であること
- ☞ 毎日箱わなの見回りができること
- ☞ 箱わなのエサ(フルーツ等)の費用負担ができること
- ☞ 箱わなのエサの取り替えが行えること
- 💡 箱わな設置は専門業者に委託して行います。

注意

「鳥獣保護管理法」「外来生物法」により、無許可でアライグマ・ハクビシンを捕獲することはできません。

アライグマ・ハクビシンに関するご相談・お問い合わせ先 >>

台東区 環境清掃部 環境課 公害指導相談担当

〒110-8615 台東区東上野 4-5-6 電話 03-5246-1283

発行：令和7年1月

参考文献／東京都環境局発行「アライグマ・ハクビシンによる被害事例」



詳しくはこちら



台東くん
©BANDAI